

## ウラル650最終型 右シリンダー給油加工

ウラル650のエンジン内潤滑は左シリンダーは強制圧送式ですがエンジンレイアウトの関係で右シリンダーへはクランク回転によるの飛沫潤滑です。クランクシャフトコンロッド大端部へ圧送潤滑されたオイルはクランク回転による遠心力で右ピストン内側に下手投げの要領でオイルが飛沫し潤滑されます。(左シリンダーは上手投げになるため不達)

オーバーヒート対策のため最終650モデルの右シリンダーには追加工がありシリンダーヘッドからクランクケースに戻ってくるオイルをシリンダーベース部に堰き止めピストンに潤滑させようと設計されたものです。オーバーヒートの原因は他にも沢山あるため効果のほどはどうだったか判りませんが750ccになってこのアイデアが継承されていないところを考えるとあまりプラスになっていなかったのではと思います。脱着の際には左右入れ違わないように注意が必要です。



加工シリンダー（右用）と従来タイプ（左用）



右側用拡大

クランクケースにも加工されているためシリンダーのみに追加工しても何の効果もありません。